

# インタビュー 家族に迎えて

センターから譲渡されたワンコ（ニャンコ）その後、どうしていますか？

4人と4匹の穏やかで幸せな日々



## 京都市中京区山崎様

たわしてブラッシング中のそらさん 大好きなお兄ちゃんとお遊ぶくろちゃん 左から、そらさん・くろちゃん・みーちゃん・くるーちゃん

山崎様ご一家は、お父さん・お母さん・お兄ちゃん2人の4人家族。

2025年1月、そらさん（推定18歳）と、みーちゃん・くろちゃん・くるーちゃん（いずれも推定1歳）の4匹の猫を新たに家族として迎えられました。山崎様は高齢猫の飼育経験もあり、余生を穏やかに暮らしてほしい、という思いから、そらさんを迎えることを決意されました。そして、そら

さんと一緒に暮らすなら、子猫たちも迎えられ、4匹は同時に新しい生活をスタートしました。

そらさんが新しい環境に馴染めるか不安もあったそうですが、まるで以前から住んでいたかのようにリラックスした様子を見せてくれたとのこと。遊び好きなそらさんは、のんびり屋のくろちゃんにちょっかいを出すこともあり、「若い者にはまだ負けら

れない」と言わんばかりです。

ブラッシングをおねだりしたり、お兄ちゃんたちと一緒におもちゃで遊んだり、人とのふれあいを楽しみながら、4匹とも幸せな毎日を送っています。

担当:K.U

# 犬猫の飼い主さん募集

～新しい飼い主さんになっていただけませんか？～

センターでは、お世話をしている犬猫の新しい飼い主さんを募集しています。飼い主さん募集中の犬猫は、ホームページやSNSでも紹介しています。

## ◎新しい飼い主さんになっていただくための主な条件

- 京都府域にお住まいの成人の方
- ペットが飼える住宅にお住まいの方
- ペットと暮らすことについて御家族の同意が得られている方
- 飼い主として、責任をもって最後までペットと暮らせる方 など

詳細は、センターへお問合せください。



◀譲渡犬・譲渡猫の詳細情報はこちらから

猫の見学会 & ミニセミナー

日時など詳細は愛護センターHPをご確認ください。

京都動物愛護センター  
マスコットキャラクター  
都(みやこ)ちゃん



保護犬の譲渡見学会

日時など詳細は愛護センターHPをご確認ください。

京都動物愛護センター  
マスコットキャラクター  
京(きょう)ちゃん



※既に譲渡先が決定している場合があります。

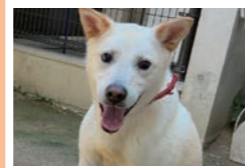
## 一緒に暮らしませんか？



テオ (14歳、オス、5.2kg)



てん (推定7~8歳、オス、4.8kg)



もく (4歳、オス、17kg)



百合 (10か月、メス、1.5kg)

## 京都動物愛護センターへのアクセス

- 近鉄十条駅から徒歩 5分
  - 京都市営地下鉄烏丸線 十条駅から徒歩 15分
  - 京都市営バス 十条大宮停留所から徒歩 5分
- ※無料駐車場はございません。

〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町 11 番地  
TEL : 075-671-0336  
FAX : 075-671-0338  
開所時間：午前 9 時～午後 5 時  
休 所 日：木曜日（祝日の場合は翌平日）  
年未年始



アクセスしてね！

X (旧 Twitter) Facebook Instagram



## 京都動物愛護センターマスコットキャラクター LINEスタンプ第2弾発売中



本紙の作成には「京都市動物愛護事業推進基金（人と動物が共生できるまちづくり基金）」が活用されています。動物愛護推進基金に寄附していただいた方のうち、希望者についてはホームページで公開しており、ふるさと納税の適用も可能です。  
なお、寄附の方法については、こちらのホームページを御覧ください。

➡<https://kyoto-ani-love.com>



令和8年春号

京都動物愛護センター機関紙

# 愛ランド通信

LINE  
スタンプ  
第2弾  
発売中

—人と動物の共生を目指して—



## 特別企画

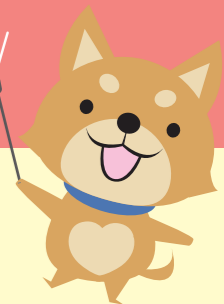
— 調べてみた！京都動物愛護センターで働く人ってどんな人？ —

センターで働く人々の一日を通して、日々の取り組みをご紹介します

インタビュー 家族に迎えて



注目!



京都動物愛護センター(以下愛護センターという)は京都府と京都市が共同で運営し、「人と動物が共生できるうるおいのある豊かな社会」(京都動物愛護憲章)の実現に向けて多岐に渡る業務に取り組んでいます。今回は、愛護センターではどんな仕事をしているのか、職種ごとにご紹介します!

## 獣医師の仕事例



保護している犬猫の管理

健康チェック  
状態によっては、投薬や検査をすることも

避妊・去勢手術

病気予防やトラブル防止を目的に譲渡する犬猫に手術を実施

ボランティアと協働

犬猫のお世話や人馴れの訓練  
ボランティアのチーム活動をサポート

イベントの準備・開催

適正飼養のためのセミナーの開催や、動物愛護フェスティバルへの参加など

譲渡案内

「保護犬の譲渡見学会」や「猫の見学会&ミニセミナー」の開催  
譲渡希望者へのガイダンス



他にも



特定動物の飼養保管許可  
.....  
動物取扱業の登録・届出と監視指導

## 衛生指導員・衛生技師の仕事例



保護している犬猫の管理

動物舎の掃除、給餌、散歩など動物の健康管理が最重要!  
人に馴れるよう、行動矯正も行う

迷い猫、徘徊犬への対応

保護された動物を受け取り愛護センターに連れてくる

他にも

ボランティア活動のサポート譲渡案内、飼育相談、犬猫の苦情対応



保護犬と遊びながら健康観察中

保護動物は人慣れていませんが、どの動物にも平等に接し、経過観察を毎日行っています。その甲斐あって、世話してきた動物たちが貰われて行った時は、仕事のやりがいを感じます。

動物の健康はもちろん、職員の安全も考慮して行動しています。様々な壁(年齢、疾患、性格など)を乗り越え、無事に譲渡が決まった時が一番嬉しいです。

保護犬へ給餌中



飼い主の皆様へ!

習性や性質を理解し、適正飼養をしてください。そして、最後まで責任持って飼育してあげてください。少しでも愛護センターに来る動物がいなくなるようにして欲しいです。



## ボランティアスタッフの一日の活動例

ボランティアスタッフはシフト制で、月に1~2回程度、午前または午後3時間活動します。ボランティアベスト(赤色)を着用し、ボランティア登録証を付けています。

9:00 / 14:00

CHECK! 健康状態をチェックします!

活動開始管理活動(犬舎・猫舎の給餌・給水・譲渡舎の清掃etc.)

10:00 / 15:00

活動中に譲渡される子もいます!

犬猫の人馴れ訓練(犬の散歩やおもちゃ遊びetc.)  
案内活動(譲渡希望者や施設利用者への案内etc.)

11:00 / 16:00

犬猫の譲渡カード作成etc.

12:00 / 17:00

活動日誌の記入・職員へ報告活動終了

チーム活動

ボランティアスタッフは「普及啓発活動」を行うために希望のチームに入り、保護犬・猫が譲渡につながる取り組みをしています。

元気アップチーム ボランティアスタッフ同士の交流会などを企画

展示チーム センターの展示物を作成

案内チーム 大人を対象とした愛護センター見学会イベントを企画・実践

こどもチーム 小学生以下の子供を対象としたイベントを企画・実践

機関紙チーム この機関紙もボランティアスタッフが作成しています! / 定期的に発行している機関紙を作成

ボランティアスタッフの活動はホームページをご覧ください!



様々な個性を持った犬に対し、その個性に寄り添いつつ、時には苦労しながらも譲渡までこぎつけたとき、そしてその犬が元気に、幸せそうに過ごしているという報告を受けたときにやりがいを感じます。

やりがい

様々な経緯でセンターにやってきた動物が、無事に譲渡された時が1番うれしいです。ケガをしていたあの子が、性格が難しかったあの子が、と1頭1頭に色んな思い入れがある分、素敵な飼い主さんに出会った時の感動は大きいです。つらい治療を乗り越ってくれた動物の頑張りが報われる瞬間だと思います。

獣医師とは、動物を通して人に寄り添い、いのちと向き合う仕事なので大変なこともたくさんありますが、その分やりがいもある仕事だと思っています。ぜひ京都動物愛護センターに見学に来てください。

獣医師を目指す方へ

とても楽しくてやりがいのあるお仕事です。獣医師としての働き方はたくさんあります。大学で学びながら色んな進路を検討してみてください!

(担当 岩下)

